

学校だより 雄飛

佐倉市立西志津中学校 第5号 令和8年9月1日(火)
『自他を認め 進んで考え挑戦し 未来を拓く生徒の育成』
～自己指導能力とWell-beingの涵養～
挑戦(Challenge)・認め合い(Respect)・粘り強さ(Resilience)

生徒数 1年125名 2年118名 3年128名 計371名

〒285-0845 佐倉市西志津4-18-1 043-462-1161

◇『大地黄金』◇

校長

今夏の熊本地震ならびに千葉豪雨により被害に遭われた皆様、ご関係の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興と、皆様の日常が一日も早く戻りますことを心よりお祈り申し上げます。

西中の9月は、保護者の皆様のご理解とご協力に支えられ、穏やかにスタートすることができました。心より感謝申し上げます。引き続き、本校の教育活動へのご支援をよろしくお願いいたします。

2学期は、いろいろなことが動き出す季節です。前に進む人、迷う人、立ち止まる人。でも、たぶんその全部が「進んでいる」ということなのだと思います。西中のスローガンである「挑戦・認め合い・粘り強さ」を、一人ひとりが十分に発揮してほしいと願っています。その中で、SKE48で活躍され、現在は俳優としても活動されている松井玲奈さんの『小学校の先生が教えてくれた「やりたいこと」の見つけ方』というインタビュー記事を目にしました。

印象に残っているのが、小学校高学年の頃に受けた「進路に関する」授業です。「将来やりたいことについて考えてみよう」というテーマでした。私の場合、お芝居などを通じて「何かを表現したい」という欲求が強かったです。学芸会でも「絶対に主役をやる!」と意気込むタイプでした。好きなもの、のめり込めるものが自分の中にしっかりあったんですよね。

でも、クラスメイトの多くは目標を定められずに困っていました。その様子を見ていた担任の先生が「まずは絶対にやりたくないことを書き出してみなさい」と言ったんです。そして「やりたくないこととして書いたもの以外は、全部やってもいいと思えることだ。その中で色々挑戦を続けていけば、いつか本当に好きなことや、やりたいことが見つかるかもしれないね」と。

この逆転の発想は今の私の原点にもなっています。

物事を「逆から考える」発想の大切さを改めて感じました。「やりたくないことがわからない」そんな問いに、真正面から答えられないことがあります。でも、「やりたくないこと」なら見えることもある。逆からたどることで、見えてくる道もある。遠回りに見えて、実はそれがいちばん自分に近い道なのかもしれません。

発想の転換は、新しい道を開くきっかけになります。このことは、私たちの日常や社会の中にも多くの学びを与えてくれます。実際、私たちの生活を便利にしてきた多くのものは、このような逆転の発想から生まれています。

○カップヌードル:どんぶりを用意しなくても、そのままお湯を注いで食べられる

○ウォシュレット:紙で拭くことが当たり前という発想を見直す

○レトルトカレー:料理は作るものという常識に対し、温めるだけで食べられる利便性を実現する

○写ルンです:高価なカメラを長く使うのではなく、使い切るという新しい考え方を生み出す

また、歴史を振り返ってみても、社会を大きく前進させたのは、「今のあたりまえ」を疑い、新たな見方を提示した人々でした。

○地球は本当に動いていないのか:コペルニクスの地動説

○スマホにボタンは本当にたくさん必要なのか:スティーブ・ジョブズによる2007年のiPhone

このように、「反対から見たらどうだろう」「別の可能性はないだろうか」と考えることは、新しい発見につながります。当たり前を疑うこと(批判的思考)、別の角度から見てみる。それは、答えを壊すことではなく、まだ出会っていない答えを探しに行くことです。



人との関わりも同じです。自分の気持ちだけでは見えない景色が、相手の立場に立った瞬間に見えることがあります。そのひとつの視点の変化が、心の距離を少し縮めてくれることもあります。

先行きが不透明で、将来の予測が難しいVUCAの時代だからこそ、自分で考え、視点を変え、必要に応じて新たな方法を見つけていく力が大切です。西中生には、何かに行き詰まりを感じた時こそ、「逆転の発想」を生かして、新しいルートから目標に向かってほしいと願っています。

一方で、人生100年時代を生きる上では、走り続けるだけではなく、立ち止まることも大切です。これは、身体を休めるためだけではなく、自分自身を振り返り、心の中の「本来の自分」と向き合うためでもあります。禅の言葉に、次のようなものがあります。

☆七走一坐(しちそういちざ):七回走ったら、一回座りなさい

挑戦することと、振り返ること。前に進むことと、立ち止まること。両方を大切にしながら、自分らしく歩みを進めてほしいです。

2学期は、前期通知表を受け取る節目の時期、やまぶき祭で学級の絆を深める時期、3年生は進路希望を決定する大切な学期、1・2年生は生徒会活動を先輩から引き継ぐ大切な時期。うまくいかない日があってもいい。その時は、進めない自分を責めるのではなく、「まだ別の道があるかもしれない」と考えてみる。逆転の発想は、きっとそのためにあります。立ち止まることを大切にしながら。そうした積み重ねの先に、結実開花の喜びがあると信じています。

西中職員・西中生・保護者の皆様がともに、実りを共有できる2学期となるよう、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

やまぶき祭に向けて♪

1学期の半ばから、10月8日(木)に行われるやまぶき祭にむけて、クラス合唱曲を決定してパート練習に取り組んでいます。練習では、美しいハーモニーが響くことを意識して練習しています。

では、ハーモニーとは何でしょうか。もともとは、Harmonia(ハルモニア)という「調和」を意味するギリシャ語が語源となっているようで、異なる要素が統一感を持ち、バランス良く組み合わせられている状態を指す言葉だそうです。音楽的に言えば、2つ以上の異なる音が重なり合ったものをハーモニーと言います。

しかし、やまぶき祭で、美しいハーモニーを響かせるとは、音楽的にきれいな声で音を重ねるだけではないように思います。クラスの中には、歌うことが得意な人も苦手な人もいます。歌うことが好きな人もあまり好きでない人もいます。そういった十人十色の個性をもった一人ひとりが、一緒になって合唱を作り上げるのですから、容易なことではありません。みんなが自分のことだけを考えていたのでは、決して「調和」することはないでしょう。夏休みからクラスのために練習を積んできた指揮者や伴奏者、毎日の練習を引っ張っている歌声委員やパートリーダー、このメンバーで最高の思い出を作ろうとしている級友。そういった仲間のことを思い、自分ができるとは何かを考え、みんなが心を合わせて練習を積み重ねていくことで、クラスが一つにまとまり調和して、美しいハーモニーが生まれるのだと思います。そして、その想いが歌にこめられているからこそ、それを聴いた人たちは感動するのではないのでしょうか。

音楽には不思議な力があります。私は脳の仕組みについて、詳しく説明することはできませんが、自分が過去に練習したり、演奏したりした音楽を聴くと、古い記憶や感情が呼び起こされることがあります。あの時はこんな気持ちだった、こんな友達がいいた、最初はうまくいかなかったけど最後には歌えるようになった!今の自分が苦しくなったときには、その記憶が自分を励ましてくれることもあります。

今回のやまぶき祭では、各クラスの想いのこもったハーモニーが、ホールと、みんなの心に響くにもものになることを楽しみに、限られた練習時間を大切に取り組んでいきたいと思っています。また、今回歌う歌が、みなさんの大切な思い出の1曲になることを願っています。



9月の主な予定

2日	水	給食開始	14日	月	職員会議 一斉下校 14:45
7日	月	校内研修 一斉下校 14:50	15日	火	東証出前授業(3年)
8日	火	質問学習会 最終下校 15:00	24日	木	学年会議 一斉下校 11:55
9日	水	第2回定期テスト 一斉下校 12:20	25日	金	個票配付 合唱中間発表会
10日	木	第2回定期テスト 一斉下校 12:20	28日	月	生徒会役員選挙 一斉下校 14:55
スクールカウンセラーの出勤日は木曜日です。9月は3日(木)と17日(木)と24日(木)です。					

学習指導部より

【千葉豪雨から垣間見えた西中の Well-being】

8月13日(木)の千葉豪雨により、本校でも1階校舎が浸水する被害を受けました。8月17日(月)の時点で床が濡れていたり、流入した泥や砂が堆積していたりする場所が残っていました。

部活動がお盆休み明けの活動日でした。生徒たちは、汚れた床やマットの清掃、調理室や体育倉庫に残った水のかき出しなどに取り組みました。「部活動をしに来たのに、なぜ掃除をしなければならないのですか」と不満を口にする生徒はいませんでした。分担場所を丁寧に清掃し、終わっていない場所を手伝う姿も見られました。学校はきれいになり、その後は各活動場所で活気あふれる部活動が行われていました。

本校では、「自分と他者でよりよく生き、満足を感じられること」を西中の Well-being と捉えています。豪雨後の校舎を放置すれば、カビの発生や砂ぼこりの拡散など、教育環境の悪化が懸念されます。2学期のスタートを前に、仲間と協力しながら迅速に行動した生徒の皆さんに、心からの敬意を表したいと思います。

また、市役所の皆様には、給食室前の校門付近で浮き上がったアスファルトの補修や、特別教室の漏電点検に迅速に対応していただきました。こうした地域や関係機関の皆様の支えがあって、本校の教育活動が成り立っていることを改めて実感しました。

今回の豪雨対応では、学校のために行動した生徒たちの姿と、地域の安全や学校環境を守るために迅速に対応してくださった市役所の皆様の姿に、「誰かのために行動する」という共通点を見ることができました。本校が大切にしている Well-being も、自分自身の幸せや満足だけではなく、周囲の人や地域の Well-being につながることで、より大きな価値を生み出します。

これからも、自分自身の Well-being だけでなく、利他性にも目を向け、行動できる生徒の育成を目指してまいります。

2学期は、学習内容がさらに深まり、1学期以上に努力や工夫が求められる時期となります。10月にはやまぶき祭も予定されており、学年や学級の中で様々なドラマが生まれることでしょう。そんな2学期も、私たちは何事にも「挑戦」し、困難に向かい合い続ける「粘り強さ」、そして、仲間の思いや考えに耳を傾け、互いを尊重する「認め合い」を大切にしながら、教育活動を進めてまいります。

ご家庭や地域の皆様の温かい支えのもと、生徒一人一人が自分自身や集団としての達成感・成長実感が得られる2学期を創っていきたいと考えております。今後とも本校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学習指導部

生徒指導部より

【9月の生活目標「生活リズムを整え、安全で落ち着いた学校生活を送ろう」】

長い夏休みが終わり、2学期が始まりました。夏休み中は、家庭での時間や地域での活動、部活動、学習などを通して、生徒一人一人がさまざまな経験を重ねたことと思います。その経験を今学期の学習や生活に生かし、さらなる成長につなげてほしいと願っています。

一方、長期休業明けは、生活リズムが乱れやすく、心身の疲れや不安が表れやすい時期でもあります。早寝・早起・朝ごはんを基本に、十分な睡眠と規則正しい食事を心がけ、少しずつ学校生活のペースを整えていきましょう。まだ暑さが続くため、こまめな水分補給や休息を取り、熱中症にも十分注意することが大切です。9月中もクールビズを継続しますので、登下校は体操服で大丈夫です。毎日の小さな変化に気付き、無理をせず、周囲に相談することも大切です。学校ではいつでも相談に応じます。

夏休み中に、何件か SNS によるトラブルについて報告がありました。7月中旬には情報モラル教室を開催し、SNS やインターネットの安全な使い方について学びました。SNS は便利な道具である一方、何気ない言葉や投稿が相手を傷つけたり、自分自身が思わぬトラブルに巻き込まれたりすることがあります。生徒一人一人が「SNS の使い方について、私はこうやって気をつける!」という宣言もアンケートで答えてもらいました。抜粋したものを、生徒昇降口等に掲示してありますので、再確認してください。送信する前に内容を見直すこと、相手の気持ちを想像すること、利用時間を守る、困ったときには信頼できる大人に相談することなど、自分を守り、相手を大切にする具体的な行動につなげてほしいと思います。また、知らない連絡先には返信しないなど、自分の身を守るための行動も忘れないでほしいです。スマホ等の使用に関するトラブルは、学校では対応できないものが多くなっています。心配なことがあれば、警察へ連絡をお願いします。

2学期は、日々の学習に加え、さまざまな活動や行事があります。互いを認め合い、落ち着いた言葉遣いと行動を心がけながら、安全で安心できる学校生活をつくるのが大切です。ご家庭でも、お子様の生活リズムや体調、スマートフォンの使い方について話題にしていいただければ幸いです。

生徒は、毎朝登校したら、Teams 上の“心の健康観察”を行っています。生徒の心身の状態を把握する目的で実施しています。今後は“シャボテンログ”というものに変えていきます。来年度より公立高等学校でも“シャボテンログ”を導入することです。心身の状態を自分でも確認できるようになります。環境が整い次第、実施していきます。

生徒指導主事

佐倉平和使節団報告

8月5日(水)から7日(金)まで、佐倉市平和使節団の一員として広島市を訪問しました。現地では、戦争体験者の方のお話を聞いたり、被爆地を訪れたりする中で、平和の尊さや戦争の悲惨さについて学びました。始業式では、学んだことを振り返り、「平和の大切さ」「原爆の恐ろしさ」「今の生活の大切さ」について、全校生徒に報告してくれました。

佐倉市いじめ防止サミット

佐倉市内の小中学校34校の代表が集まり7/31に第12回佐倉市いじめ防止サミットが佐倉市役所にて行われました。本校からは、参加してくれました。始業式では、いじめを防ぐためには、いじめを「しない」「させない」だけではなく、困っている人に声をかけ、手を差し伸べる大切さについて報告してくれました。

11.14 西中フェス(仮称)名称募集します!

11月14日(土)、コミュニティ・スクールの取り組みの一環として、非認知能力涵養を目指し、地域の方々と一緒に楽しむイベントを開催します。地域の団体やお店、個人の方による出店や催しを予定しており、生徒だけでなく、保護者、西志津小の児童、地域の方々との交流の場にしたいと考えています。また、生徒の皆さんにも、受付や案内、販売補助、準備、片付けなど、さまざまな場面で活躍してもらう予定です。そこで、このイベントにぴったりの**名称を生徒の皆さんから募集します!9月11日(金)〆切 Forms で回答**「みんなが参加したくなる」「地域とのつながりを感じられる」そんな素敵な名前を考えてください。アイデアをお待ちしています。

第2回授業参観日程変更

年間行事予定でお知らせしていた第2回授業参観の日程を、下記のとおり変更いたします。
変更前:10月22日(木)
変更後:11月14日(土)
急な変更となり、保護者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。